

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月13日

上場会社名 株式会社フジオフードシステム 上場取引所 大
 コード番号 2752 URL <http://www.fujiyo-food.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤尾 正弘
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 佐藤 一郎 (TEL) 06 (6882) 0851
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有 無
 四半期決算説明会開催の有無: 有 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績 (平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
22年12月期第2四半期	9,866 △5.5	576 △6.8	496 △12.9	△102 —
21年12月期第2四半期	10,445 —	618 —	569 —	45 —

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 錢	円 錢
22年12月期第2四半期	△2,252 92	—
21年12月期第2四半期	1,007 10	1,005 53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 錢
22年12月期第2四半期	13,196	2,580	19.5	56,634 83
21年12月期	14,432	2,801	19.3	61,561 85

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 2,572 百万円 21年12月期 2,792 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年12月期	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢	円 錢
	—	0 00	—	2,000 00	2,000 00
22年12月期	—	0 00	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	2,000 00	2,000 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無: 有 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想 (平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 錢
通期	20,800 0.8	1,180 △8.7	1,060 △9.6	223 2.0	4,908 65

(注) 当四半期における業績予想の修正有無: 有 無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕 P. 4 「その他」をご覧ください。）

（1）当四半期中における重要な子会社の異動：有・無

新規 - 社（社名） 、除外 - 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有・無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有・無

② ①以外の変更：有・無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期 2Q	45,430株	21年12月期	45,358株
22年12月期 2Q	——株	21年12月期	——株
22年12月期 2Q	45,389株	21年12月期 2Q	45,080株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕 P. 3 「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. その他の情報	P. 4
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(第2四半期連結累計期間)	P. 7
(第2四半期連結会計期間)	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 繼続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13
4. 補足情報	P. 14
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 14

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、外需や景気刺激策に牽引される形で、緩やかな景気回復局面を迎えることになりました。一方国内消費におきましては、家計所得の減額や、雇用不安等により改善の兆しは見られず、かつ長期化の様相を呈しております。

外食産業におきましても、来店客数の底入れ感は見られるものの、生活防衛意識を背景に、外食機会や外食動機の改善は限定的となりました。さらに、業界全体では価格競争の様相を呈しており、客单価の減少が続いております。

このような環境下で当社グループは、「大衆というカテゴリで日本一の外食企業になる」というスローガンのもと当第2四半期連結累計期間において、串揚げビュッフェ業態の「串家物語」を中心とした出店と、既存店の収益力強化に全社を挙げて注力しました。

「串家物語」につきましては、くずはモール（大阪府枚方市）への出店等、大型商業施設への出店に注力した結果、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は56店舗（直営店38店舗、F C店18店舗）となりました。今後も引き続き大型商業施設への出店を進めてまいります。

なお当業態につきまして、アジアを中心とした経済環境が形成されていくことを背景に外食市場の高成長が見込まれる香港においての展開を実施すべく、香港子会社を設立することと致しました。香港への進出は、中国本土への本格展開に向けたテストケースでもあり、香港での実績を踏まえ、早急に中国本土への展開も計画しております。

「まいどおおきに食堂」を中心とした既存店舗につきましてはお客様の満足度向上を目指した店舗改装や販促活動を進め、収益力の強化を実現してまいります。

F C事業においては通常の臨店指導に加えて4月から弊社代表取締役による全国への臨店を実施しました。今後さらに加盟企業とのコミュニケーションを密にして問題点の改善や売上の向上を目指してまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は98億66百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益5億76百万円（前年同期比6.8%増）、経常利益4億96百万円（前年同期比12.9%減）となりました。営業利益並びに経常利益につきましては計画数値を上回る推移となりましたが、株式市場の下落により生じた投資有価証券評価損1億53百万円等の特別損失5億36百万円を計上した結果、四半期純損失は1億2百万円（前年同期四半期純利益45百万円）となりました。

[参考資料：第2四半期連結会計期間の概況]

	平成22年第2四半期連結会計期間	前年同四半期会計期間	増減比
	金額（千円）	金額（千円）	（%）
売上高	4,957,073	5,129,571	△3.4
営業利益	308,385	303,075	1.8
経常利益	271,252	278,362	△2.6
四半期純損失（△）	△33,555	△18,639	—

当社グループの平成22年6月末時点の店舗数は694店舗（直営店284店舗、F C店410店舗）となりました。なお業態別の店舗数は以下のとおりです。

	直営店(国内)	直営店(海外)	F C店	合計
まいどおおきに食堂	124	4	359	487
神楽食堂 串家物語	38	—	18	56
手作り居酒屋 かつぼうぎ	26	—	29	55
浪花麺乃庄 つるまる	38	—	4	42
その他	52	2	—	54
合計	278	6	410	694

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は12億35百万円減少し、131億96百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末から7億28百万円減少し、固定資産は5億9百万減少しております。流動資産が減少した主な理由は新規借入等の資金調達を控えたことによる現金及び預金の減少、固定資産が減少した主な理由は、減価償却累計額及び減損損失累計額の増加等であります。

負債については、前連結会計年度末と比較して10億14百万円減少し、106億15百万円となりました。これは主に長期借入金の減少によるものであります。

純資産については、四半期純損失の計上及び配当金の支払い等による利益剰余金の減少、投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金の減少等により、25億80百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが6億63百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが1億22百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが10億33百万円の支出となり、この結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して4億95百万円減少し、32億81百万円（前年同四半期連結累計期間末残高34億31百万円）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは6億63百万円の収入（前年同期は7億15百万円の収入）となりました。主な要因は、非現金支出である減価償却費が3億59百万円及び減損損失が2億15百万円、投資有価証券評価損が1億53百万円、利息の支払額が87百万円発生したことによるものによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは1億22百万円の支出（前年同期は2億78百万円の支出）となりました。主な要因は、定期預金の解約による収入が1億5百万円、定期預金の預入、貸付による支出、敷金・保証金の支払額、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が2億21百万円発生したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは10億33百万円の支出（前年同期は2億9百万円の支出）となりました。主な要因は、借入の実行、社債の発行による収入が7億90百万円、長期借入金の返済、社債の償還、割賦債務の返済、配当金の支払による支出が18億14百万円になったことによるものであります

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年2月19日に公表いたしました第2四半期累計期間の連結業績予想を平成22年8月13日に修正しております。修正理由等につきましては平成22年8月13日公表の「投資有価証券評価損による特別損失の計上に伴う第2四半期累計期間連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、通期の連結業績予想につきましては、平成22年2月19日に公表した業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異などの発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法により算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分）及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号 平成20年3月10日）が平成22年3月31日以前に開始する連結会計年度から適用できることになったことに伴い、第一四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,555,100	4,070,056
売掛金	323,419	442,023
たな卸資産	85,730	108,097
繰延税金資産	185,907	185,907
その他	771,955	852,411
貸倒引当金	△57,304	△64,723
流動資産合計	4,864,809	5,593,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,969,921	5,916,837
減価償却累計額	△2,377,642	△2,180,157
減損損失累計額	△347,294	△227,113
建物及び構築物（純額）	3,244,984	3,509,566
工具、器具及び備品	1,910,404	1,872,781
減価償却累計額	△1,435,230	△1,358,569
減損損失累計額	△27,828	△24,827
工具、器具及び備品（純額）	447,345	489,384
土地	137,272	137,272
建設仮勘定	23,492	73,198
その他	208,902	165,216
減価償却累計額	△47,745	△32,480
減損損失累計額	△17,961	—
その他（純額）	143,195	132,735
有形固定資産合計	3,996,291	4,342,158
無形固定資産	43,526	45,092
投資その他の資産		
投資有価証券	251,980	423,710
繰延税金資産	265,126	243,296
敷金及び保証金	3,201,369	3,197,994
その他	804,146	796,664
貸倒引当金	△266,357	△242,838
投資その他の資産合計	4,256,265	4,418,827
固定資産合計	8,296,082	8,806,079
繰延資産	35,772	32,193
資産合計	13,196,664	14,432,045

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)		前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	691,025	839,916
1年内返済予定の長期借入金	2,502,490	2,577,165
未払金	637,276	735,189
未払法人税等	93,028	90,264
賞与引当金	26,220	—
訴訟損失引当金	53,926	31,000
その他	1,228,222	1,218,240
流動負債合計	5,232,190	5,491,777
固定負債		
社債	1,270,000	1,050,000
長期借入金	3,047,130	4,026,101
その他	1,066,600	1,062,418
固定負債合計	5,383,730	6,138,520
負債合計	10,615,920	11,630,297
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,173,299	1,169,969
資本剰余金	1,053,045	1,049,716
利益剰余金	364,572	557,546
株主資本合計	2,590,918	2,777,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,552	9,332
為替換算調整勘定	4,554	5,757
評価・換算差額等合計	△17,998	15,089
新株予約権	3,057	5,271
少数株主持分	4,765	4,153
純資産合計	2,580,743	2,801,747
負債純資産合計	13,196,664	14,432,045

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	10,445,244	9,866,896
売上原価	3,436,487	3,229,450
売上総利益	7,008,756	6,637,446
販売費及び一般管理費	6,390,469	6,060,963
営業利益	618,287	576,483
営業外収益		
受取利息	1,951	2,046
受取家賃	87,360	64,219
その他	24,455	13,832
営業外収益合計	113,768	80,097
営業外費用		
支払利息	84,273	76,682
社債利息	6,974	12,423
賃貸収入原価	64,354	55,730
持分法による投資損失	—	7,848
その他	6,806	7,489
営業外費用合計	162,409	160,173
経常利益	569,646	496,407
特別利益		
受取和解金	17,798	4,800
貸倒引当金戻入額	778	—
新株予約権戻入益	—	2,214
特別利益合計	18,576	7,014
特別損失		
店舗解約損	247,807	60,812
訴訟損失引当金繰入額	—	22,926
訴訟和解金	—	49,672
減損損失	28,924	215,001
投資有価証券評価損	—	153,347
その他	155,083	34,346
特別損失合計	431,816	536,107
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	156,406	△32,686
法人税等	110,778	68,959
少数株主利益	228	612
四半期純利益又は四半期純損失(△)	45,400	△102,257

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	5,129,571	4,957,073
売上原価	1,672,516	1,614,652
売上総利益	3,457,055	3,342,421
販売費及び一般管理費	3,153,979	3,034,035
営業利益	303,075	308,385
営業外収益		
受取利息	412	852
受取家賃	41,212	31,253
その他	13,679	9,523
営業外収益合計	55,304	41,630
営業外費用		
支払利息	40,436	36,298
社債利息	4,520	5,997
賃貸収入原価	31,505	27,664
持分法による投資損失	—	4,821
その他	3,555	3,981
営業外費用合計	80,018	78,763
経常利益	278,362	271,252
特別利益		
受取和解金	17,798	4,800
特別利益合計	17,798	4,800
特別損失		
店舗解約損	157,107	2,632
訴訟損失引当金繰入額	—	22,926
減損損失	2,381	33,066
投資有価証券評価損	—	153,347
その他	126,286	13,702
特別損失合計	285,774	225,675
税金等調整前四半期純利益	10,385	50,376
法人税等	28,490	83,061
少数株主利益	534	870
四半期純損失(△)	△18,639	△33,555

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	156,406	△32,686
減価償却費	409,824	359,242
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,624	16,100
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	26,220
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	22,926
受取利息及び受取配当金	△3,197	△2,108
支払利息	84,371	76,682
社債利息	6,974	12,423
株式交付費償却	1,338	—
社債発行費償却	1,563	3,713
持分法による投資損益(△は益)	—	7,848
投資有価証券評価損益(△は益)	—	153,347
店舗解約損	247,807	60,812
減損損失	28,924	215,001
訴訟和解金	—	49,672
売上債権の増減額(△は増加)	11,368	75,526
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,689	22,352
店舗売却に係る固定資産増減額(△は増加)	—	23,144
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,806	△102,774
預け金の増減額(△は増加)	48,169	107,318
未収入金の増減額(△は増加)	113,818	27,370
立替金の増減額(△は増加)	△10,442	9,290
前渡金の増減額(△は増加)	18,784	2,460
未払金の増減額(△は減少)	△134,776	△84,887
前受金の増減額(△は減少)	△10,500	1,938
未払消費税等の増減額(△は減少)	21,218	△47,393
その他	△26,505	△132,997
小計	870,279	870,546
利息及び配当金の受取額	3,197	2,108
利息の支払額	△88,687	△87,743
支払解決金の支払額	△37,550	—
訴訟和解金の支払額	—	△60,000
法人税等の支払額	△31,828	△61,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	715,411	663,086

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,582	△85,647
定期預金の払戻による収入	75,504	105,590
有形固定資産の取得による支出	△219,270	△22,953
無形固定資産の取得による支出	—	△7,236
固定資産の除却による支出	△100,521	△14,962
貸付けによる支出	△47,400	△42,253
貸付金の回収による収入	17,802	5,110
投資有価証券の取得による支出	—	△35,332
長期前払費用の増減額（△は増加）	△5,010	—
敷金及び保証金の差入による支出	△44,085	△63,571
敷金及び保証金の回収による収入	121,335	40,632
その他	△789	△1,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	△278,017	△122,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	145,000	—
長期借入れによる収入	900,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△1,230,772	△1,351,874
社債の発行による収入	490,460	490,460
社債の償還による支出	△145,000	△180,000
株式の発行による収入	—	6,659
割賦債務の返済による支出	△279,556	△192,285
リース債務の返済による支出	—	△16,100
配当金の支払額	△89,026	△90,422
その他	△739	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△209,634	△1,033,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,905	△2,167
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	231,665	△495,013
現金及び現金同等物の期首残高	3,200,115	3,776,466
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,431,781	3,281,452

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	直営事業 (千円)	F C事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,579,738	549,833	5,129,571	—	5,129,571
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,579,738	549,833	5,129,571	—	5,129,571
営業利益	199,759	308,650	508,409	△205,333	303,075

当第2四半期連結会計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

	直営事業 (千円)	F C事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,526,722	430,350	4,957,073	—	4,957,073
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,526,722	430,350	4,957,073	—	4,957,073
営業利益	302,817	231,862	534,680	△226,294	308,385

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上採用している事業別の区分に基づきセグメンテーションを行っております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

直営事業 当社直営店舗における売上高及び営業利益

F C事業 当社フランチャイズ店舗より受領する加盟金、ロイヤリティ、店舗運営に必要な設備・備品などの売上高及び営業利益

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）

	直営事業 (千円)	F C事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,347,744	1,097,500	10,445,244	—	10,445,244
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,347,744	1,097,500	10,445,244	—	10,445,244
営業利益	426,806	613,948	1,040,754	△422,466	618,287

当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

	直営事業 (千円)	F C事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,004,298	862,598	9,866,896	—	9,866,896
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,004,298	862,598	9,866,896	—	9,866,896
営業利益	566,386	451,299	1,017,685	△441,202	576,483

(注) 1. 事業区分の方法

内部管理上採用している事業別の区分に基づきセグメンテーションを行っております。

2. 各区分に属する主要な事業の内容

直営事業 当社直営店舗における売上高及び営業利益

F C事業 当社フランチャイズ店舗より受領する加盟金、ロイヤリティ、店舗運営に必要な設備・備品などの売上高及び営業利益

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が、90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が、90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結会計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当社は生産を行っていないため、該当事項はございません。

② 受注状況

- 直営事業については、店舗においてお客様から商品（メニュー）の注文をいただき、その場で調理して直接お客様へ提供しておりますので受注実績について記載すべき事項はありません。
- F C事業については、受注形態による販売ではないため、受注実績について記載すべき事項はありません。

③ 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を示すと次のとおりであります。

1. 事業の種類別セグメント別売上高

事業の種類別セグメントの名称	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	前年同四半期比(%)
	金額(千円)	
まいどおおきに食堂	1,976,590	89.7
神楽食堂 串家物語	1,005,975	112.0
手作り居酒屋 かっぽうぎ	384,333	100.6
浪花麺乃庄 つるまる	421,370	151.6
その他	738,452	90.4
直営事業 計	4,526,722	98.8
ロイヤリティ売上	226,771	73.3
イニシャル売上	16,714	60.9
ランニング売上	186,864	87.8
F C事業 計	430,350	78.3
合計	4,957,073	96.6

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. イニシャル売上は、出店時に必要な店舗設備、備品など売上であります。

3. ランニング売上は、店舗運営時に必要な消耗品類の売上であります。

4. 海外部門の売上は、直営事業の金額に含まれております。

2. 地域別売上高

	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)			前年同四半期会計期間		
	直営店売上高			直営店売上高		
	売上高 (千円)	構成比 (%)	期末店舗数 (店)	売上高 (千円)	構成比 (%)	期末店舗数 (店)
東北地区	10,250	0.2	1	11,690	0.2	1
関東地区	455,429	10.1	26	410,256	9.0	20
東海地区	187,215	4.1	9	219,387	4.8	8
関西地区	3,732,572	82.5	237	3,837,288	83.8	227
中国・四国地区	53,848	1.2	2	12,429	0.3	1
九州地区	27,073	0.6	3	33,509	0.7	3
海外地区	60,333	1.3	5	55,177	1.2	5
合計	4,526,722	100.0	283	4,579,738	100.0	265

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。